

海の考古学

伊勢湾・三河湾岸をめぐる新たな視点

伊勢湾・三河湾を中心に、
海に関わる諸活動・役割を後期旧石器時代から古墳時代まで通して考えます。

開催日 令和8年2月7日(土) 午後1時から5時まで

会場 清洲市民センター 1階ホール (清須市清洲弁天 96 番地 1)

事前申し込み不要、当日先着順、入場無料

午後0時30分 開場

午後1時

開会挨拶 清須市教育委員会 教育長 天埜幸治 氏

趣旨説明 川添和暁 (愛知県埋蔵文化財センター)

午後1時10分～2時10分

講演 海部陽介 氏 (東京大学総合研究博物館 教授)
「インドネシアの原人からあいちの縄文人まで」



海部陽介先生

午後2時20分～2時45分

研究発表1 増山禎之 氏 (田原市教育委員会 学芸員)
「渥美半島における縄文時代から弥生時代の海上活動」

午後2時45分～3時10分

研究発表2 原田 幹 (あいち朝日遺跡ミュージアム 館長)
「朝日遺跡と海」

午後3時10分～3時35分

研究発表3 浅岡 優 氏 (西尾市教育委員会 主査 / 学芸員)
「佐久島の考古学—古墳と製塩の島—」

午後3時50分～4時50分

総合討論 司会 川添和暁 (愛知県埋蔵文化財センター)

閉会挨拶 原田 幹 (あいち朝日遺跡ミュージアム 館長)

